

**目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち**

**施策4 利便性の高い快適な都市基盤の整備**

**現状と課題**

- 踏切による交通渋滞や事故、地域分断の解消を図るとともに、地域の安全性や利便性の更なる向上のため、地域住民との協働による沿線のまちづくりを進めていく必要があります。
- 防災や区民生活の安全性の確保の観点から生活道路網の体系的な整備が求められる中、いまだ多くの狭あい道路が存在する状況です。首都直下地震などの大規模災害の発生が危惧される状況において、区が指定した重点整備路線を中心に着実な拡幅整備を行うとともに、支障物件の除却を促進し、事業を積極的に推進していく必要があります。
- 区立施設や駅施設のバリアフリー<sup>\*1</sup>化に取り組んできましたが、バリアフリー化の必要性が高い地域が依然として存在します。「杉並区バリアフリー基本構想」で定める重点整備地区を中心に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も視野に入れた施設のバリアフリー化やユニバーサルデザイン<sup>\*2</sup>の整備を一層推進する必要があります。
- 区が運行する南北バスは、多くの方に利用されており、交通不便地域の解消の一助となっています。今後も幹線道路の整備等に合わせて公共交通の充実を図るとともに、高齢化等に対応した誰もが利用しやすい公共交通の整備について検討していく必要があります。

**計画最終年度(平成33年度)(2021年度)の目標**

- 道路と鉄道の立体交差化により、踏切による交通渋滞や事故、鉄道による地域分断が解消されるなど、地域の安全性や利便性が向上するとともに、地域コミュニティの活性化が進んでいます。
- 体系的な道路網の整備により、自動車交通の円滑化、歩行者の安全性や快適性が確保されています。また、狭あい道路の拡幅と電柱のセットバック<sup>\*3</sup>が進み、防災性の向上と円滑な通行の確保が進んでいます。
- 施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの整備により、誰もが暮らしやすく、快適で魅力あふれるまちになっています。

**施策指標の推移(実績)と目標値**

指標名	実績値 (24年度)	実績値 (29年度)	目標値 (33年度) (2021年度)	指標の説明・計算式
区内での定住意向	84.5%	85.0%	90%	区民意向調査による
都市計画道路 <sup>*4</sup> (区道)完成延長	6,642m	7,022m	8,052m	区内都市計画道路のうち整備完了した区道延長

## 施策を構成する計画事業

※実行計画・頁

1 鉄道連続立体交差の推進	<b>重点</b>	P106
2 都市計画道路の整備		P106
3 狭あい道路の拡幅整備事業と電柱セットバックの推進	<b>重点</b>	P107
4 生活道路等の整備		P108
5 自転車等放置防止対策の推進		P109
6 都市基盤情報の整備		P109
7 新たな地域交通の整備		P110
8 ユニバーサルデザインのまちづくり推進	<b>重点</b>	P110

※「実行計画・頁」は、第3章「実行計画(平成31～33年度)(2019～2021年度)」における当該計画事業の該当ページです。



拡幅整備前



拡幅整備後

狭あい道路拡幅整備

- ※1 バリアフリー…障害者や高齢者等にとっての障害を解消すること。施設などの物理的な障害にとどまらず、心のバリアフリー、情報バリアフリー等、高齢者や障害者を取り巻く生活全般に関連するものを含む考え方
- ※2 ユニバーサルデザイン…年齢・性別・能力・国籍等の違いにかかわらず、すべての人が使いやすいように建築物、製品、環境及び制度やサービスなどをあらかじめデザインすること
- ※3 電柱のセットバック…狭あい道路の拡幅整備に伴い、既存の電柱を移設し、防災性の向上と円滑な通行を確保すること
- ※4 都市計画道路…都市の基盤的施設として計画的な整備を目指し、都市計画法による都市計画決定を受けた道路

**目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち**

**施策5 良好な住環境の整備**

**現状と課題**

- 良好な住環境の保全・形成のため、防災機能の向上、住宅セーフティネット<sup>\*1</sup>の再構築、空家等対策の推進等による住環境の整備を柱として、様々な事業の実施が求められています。
- 住宅を中心とした市街地の特色を守り発展させながら、地域特性に応じた良好な住環境の保全・形成を図っていく上で、地域地区<sup>\*2</sup>、地区計画<sup>\*3</sup>などまちづくりに関する諸制度の活用と適正な運用が求められています。
- 区民や地域団体等の自発的な活動による「まちづくりルール」の作成などに対して、様々な支援策が求められています。

**計画最終年度(平成33年度)(2021年度)の目標**

- 地域特性に応じた良好な住環境の保全・形成が進み、質の高い住宅都市「住み続けたいまち、住んでみたいまち」杉並として幅広く認識されています。また、歴史・文化、自然などの価値ある場所がネットワーク化され、まちの魅力・価値が高まっています。
- 区民が良質な住宅と良好な住環境の中で、ゆとりある住生活が送れるようになっています。
- まちづくりに関する諸制度の的確な運用により、良好な市街地形成が進んでいます。

**施策指標の推移(実績)と目標値**

指標名	実績値 (24年度)	実績値 (29年度)	目標値 (33年度) (2021年度)	指標の説明・計算式
住環境に満足する区民の割合	90.5%	91.1%	95%	区民意向調査による
最低居住面積水準 <sup>*4</sup> 未達の住宅に住む世帯の割合	21.9%	19.5%	5%	住宅・土地統計調査による

## 施策を構成する計画事業

※実行計画・頁

1 住宅確保要配慮者※5の民間賃貸住宅への入居支援の充実	重点	P111
2 公営住宅の運営		P111
3 まちづくり活動の支援		P112
4 地区計画等によるまちづくりの推進		P112
5 空家等対策の推進	重点	P113

※「実行計画・頁」は、第3章「実行計画(平成31～33年度)(2019～2021年度)」における当該計画事業の該当ページです。



区営住宅(浜田山二丁目アパート)外観



杉並区居住支援協議会での  
相談窓口の様子

- ※1 住宅セーフティネット…セーフティネットとは「安全網」のこと。住宅におけるセーフティネットとは、自力で住宅を確保できない方の健康で文化的な生活を営むに足りる住宅の確保に対し、行政が関与・支援する体制を整備すること
- ※2 地域地区…都市計画区域内の土地について、適正な利用や保全を図ることを目的に、都市計画法に定められた、用途地域などの地域又は地区
- ※3 地区計画…地区の住民が利用する道路・公園や、建築物に対する規制などを総合的な計画として定め、その地区の特性にふさわしい、より良いまちづくりを誘導する制度
- ※4 最低居住面積水準…住生活基本計画の中で定めている、健康で文化的な住生活の基礎として必要不可欠な住戸の面積に関する水準
- ※5 住宅確保要配慮者…住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律で定義されている、低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子どもを育成する家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する者

**目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち**

**施策6 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり**

**現状と課題**

- 杉並区が住宅都市としての価値を更に高めていくためには、駅周辺を中心とした、魅力的でにぎわいのあるまちづくりが重要です。特に、区内最大の交通結節拠点である荻窪駅周辺地区は、その潜在能力を十分に生かした整備を行い、商業の活性化や生活利便性などの都市機能を高めていくことが求められています。
- 区内全体では、交通拠点である駅周辺を核とし、それぞれの地域特性を生かした、にぎわいや魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。
- みどり豊かな美しい住宅都市杉並を将来に継承し、魅力あるまちなみを創出するためには、まちの景観に対する区民の意識を高め、自主的に景観づくりに取り組む風土を醸成していくことが求められています。
- 東京都への観光客数が増加している一方、その多くは都心部に集中し、杉並区の集客としては目に見える大きな成果にはつながっていない現状があります。区の地域資源を集約した都心部にはない魅力のPR、アニメの活用、図柄入り杉並ナンバープレート\*1の普及等により、杉並の知名度と区外からの集客力を高め、にぎわいや商機の創出につなげていく必要があります。

**計画最終年度(平成33年度)(2021年度)の目標**

- 荻窪駅周辺では、商業機能や生活利便施設の集積及び利便性の高い都市空間の形成など、「都市再生まちづくり」が着実に進んでいます。
- 駅を中心に区内各地域の特性を生かした魅力のあるまちづくりが進み、多くの人々が訪れたいようなにぎわいと活力が生まれています。
- まちなみ景観の視点から考えるまちづくり活動など区民一人ひとりの主体的な取組が進み、美しいまちなみづくりを支えています。
- 「杉並」の知名度の高まりとともに、杉並の「良さ」、「らしさ」が区外にも周知され、持続的に集客力が高まり、にぎわいの創出につながっています。

**施策指標の推移(実績)と目標値**

指標名	実績値 (24年度)	実績値 (29年度)	目標値 (33年度) (2021年度)	指標の説明・計算式
住環境に満足する区民の割合	90.5%	91.1%	95%	区民意向調査による
杉並区のまちを美しいと思う人の割合	76.7%	78.8%	85%	区民意向調査による
区内全駅の1日平均乗降人員	684,541人	748,182人	759,000人	各鉄道会社の公表による (JR4駅は乗車人員、他の駅は乗降人員の平均)
「すぎなみ学倶楽部*2」のアクセス数	496,397件	613,897件	670,000件	

## 施策を構成する計画事業

※実行計画・頁

1 荻窪駅周辺都市再生事業 <sup>※3</sup> の推進	重点	P114
2 多心型まちづくりの推進	重点	P114
3 景観まちづくりの推進		P115
4 杉並らしさを活かした観光事業の推進	重点	P115
5 アニメの振興とにぎわいの創出		P116

※「実行計画・頁」は、第3章「実行計画(平成31～33年度)(2019～2021年度)」における当該計画事業の該当ページです。

## 施策6の目標達成に寄与する他施策の計画事業

(元の施策)

地域特性を活かした商店街活性化促進	重点	施策7
オリンピック・パラリンピック事業の推進	重点	施策29



阿波おどり体験の様子



図柄入り杉並ナンバープレート

※1 図柄入り杉並ナンバープレート…ラグビーワールドカップ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の特別仕様ナンバープレートにつづき導入される地方版図柄入りナンバープレートで、図柄が入った杉並ナンバープレートのこと。平成30年10月1日から交付

※2 すぎなみ学倶楽部…区民ライターによって取材・執筆が行われている、杉並区の様々な分野の魅力を発信する区公式サイト

※3 荻窪駅周辺都市再生事業…区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺のまちづくりに取り組み、魅力を高め、杉並全体を牽引していくことで、住宅都市としての発展を目指していく事業



**目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち**

**施策  
7**

**地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興**

**現状と課題**

- 将来を見据えた産業の振興を図るために、「杉並区産業振興基本条例」や「杉並区産業振興計画」に基づき、区と区内産業経済団体等との日常的な連携や、地域経済の活性化に向けた計画的な取組が求められています。
- 日本経済は緩やかな回復基調が続いていますが、依然として景気の先行きの不透明さは払拭できない状況にあります。そのような中、中小企業には景気拡大の恩恵が大企業ほど浸透していない状況です。そのため、引き続き中小企業への支援や意欲ある現役世代等への就労対策が求められています。
- チェーン店の増加などに伴い、個々の商店街の個性や特徴が見えにくくなっています。地域の特性を踏まえ、その資源を活用していくことなどにより、魅力ある商店街づくりを進めていく必要があります。
- 区内の農地・農業者は、高齢化による後継者不足、相続税負担に伴う農地売却などにより減少しており、実効性の高い都市型農業\*支援策を講じる必要があります。

**計画最終年度(平成33年度)(2021年度)の目標**

- 区と区内産業経済団体等が一体となって様々な産業振興策を実施し、区内経済が着実に活性化してきています。
- 区内農業者等による地産地消の取組が行われ、学校給食へ農産物が提供されるなど、都市型農業の持つ多面性が生かされるようになってきています。
- 就労支援や創業支援等の取組により、多くの意欲ある現役世代等の就職が叶うとともに、創業が進んでいます。

**施策指標の推移(実績)と目標値**

指標名	実績値 (24年度)	実績値 (29年度)	目標値 (33年度) (2021年度)	指標の説明・計算式
就労支援センターの利用により、就職が決定した人数	109人 (12/3~)	年783人	年850人以上	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数
創業支援による創業者数	—	年101件	年80件	区が実施する特定創業支援等事業を利用し、区内で創業した事業者数
商店街への満足度	59.1%	61.2%	65%	区民意向調査による
区内農業産出額	340(百万円) (22年分)	321(百万円) (27年分)	370(百万円) (31年分)	東京都農作物生産状況調査による

## 施策を構成する計画事業

※実行計画・頁

1 地域特性を活かした商店街活性化促進	重点	P117
2 都市型農業の支援	重点	P118
3 中小企業の支援		P119
4 若者等の就労支援		P119

※「実行計画・頁」は、第3章『実行計画(平成31～33年度)(2019～2021年度)』における当該計画事業の該当ページです。

## 施策7の目標達成に寄与する他施策の計画事業

(元の施策)

杉並らしさを活かした観光事業の推進	重点	施策6
アニメの振興とにぎわいの創出		施策6



子どものための農業体験教室の様子



商店街が実施した駅前広場イルミネーションの様子

※ 都市型農業…新鮮な農産物の供給だけでなく、農業体験の場や災害時のオープンスペースの役割なども併せ持つ、市街地及びその周辺地域において行われる農業のこと